



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 三櫻工業株式会社  
コード番号 6584 URL <http://www.sanoh.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 篠原 利幸

問合せ先責任者 (役職名) 財務会計部長代理

(氏名) 榎本 新太郎

TEL 03-5793-8417

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	93,294	23.6	4,076	27.1	4,334	5.1	2,069	1.3
26年3月期第3四半期	75,480	16.1	3,206	32.5	4,123	56.6	2,042	37.5

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 3,417百万円 (△28.2%) 26年3月期第3四半期 4,758百万円 (135.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	56.84	—
26年3月期第3四半期	56.12	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	105,817	41,951	36.9	1,073.49
26年3月期	97,403	39,751	38.0	1,016.84

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 39,071百万円 26年3月期 37,986百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.50	—	11.50	22.00
27年3月期	—	11.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	11.50	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	14.5	5,800	25.8	5,300	11.0	2,500	14.3	68.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	37,112,000 株	26年3月期	37,112,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	716,185 株	26年3月期	716,185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	36,395,815 株	26年3月期3Q	36,395,999 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、国内においては、政府の経済政策等を背景として緩やかな回復傾向が続いているものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動や物価上昇等により、景気の先行きは不安定な状況にあります。海外においては、米国では、景気が順調に推移する一方で、中国では景気の減速感が強まっております。アジアでは、インドでは持ち直しの動きがみられるものの、アセアン地域を中心に足踏み状態となっております。欧州は、ユーロ圏では緩やかな回復基調にありますが、ロシアは、不安定な政治経済の状況に伴う市場環境の冷え込み等先行きに不透明感がみられます。

このような環境のなか、当第3四半期連結累計期間の業績は、昨年末に子会社化したガイガー オートモーティブ社を第1四半期から連結対象としたことに加えて、北南米及び中国の業績回復等により、売上高は932億94百万円（前年同期比23.6%増）、営業利益は40億76百万円（前年同期比27.1%増）と増収増益となりました。また、為替差益の計上等により、経常利益は43億34百万円（前年同期比5.1%増）、四半期純利益は20億69百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

所在地別セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### ①日本

国内自動車販売台数の減少等により、売上高は285億3百万円（前年同期比8.1%減）となりました。営業利益は主に売上の減少等により、13億38百万円（前年同期比49.9%減）となりました。

#### ②北南米

自動車需要の回復に伴う新規受注製品の増加及び為替換算による影響等により、売上高は287億55百万円（前年同期比19.5%増）となりました。また、営業利益は売上の増加及び原価改善効果等により、12億67百万円（前年同期比1,685.5%増）となりました。

#### ③欧州

昨年末に子会社化したガイガー オートモーティブ社を第1四半期から連結対象とした影響等により、売上高は180億10百万円（前年同期比320.7%増）、営業利益は6億12百万円（前年同期比305.2%増）と大幅な増収増益となりました。

#### ④中国

新工場の本格稼働が売上、利益の増加に寄与したこと等により、売上高は69億42百万円（前年同期比20.1%増）、営業利益は21百万円（前年同期は3億92百万円の営業損失）となりました。

#### ⑤アジア

インド及びインドネシアにおける新規受注製品の立ち上げ等により、売上高は110億84百万円（前年同期比7.1%増）と増収となりましたが、タイでの政情不安等による景気低迷の影響や自動車購入支援政策終了による需要の反動減等により、営業利益は9億61百万円（前年同期比5.2%減）と減益になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は1,058億17百万円となり、前連結会計年度末に比べて84億14百万円増加しました。主な要因は現金及び預金の増加37億7百万円、売上債権の増加20億81百万円、有形固定資産の増加20億10百万円、投資その他の資産の増加10億3百万円等であります。

負債合計は638億66百万円となり、前連結会計年度末に比べて62億13百万円増加しました。主な要因は長期借入金の増加64億62百万円、仕入債務の減少13億7百万円、短期借入金の減少8億56百万円、退職給付に係る負債の増加7億90百万円、未払法人税等の減少7億10百万円等であります。

純資産は419億51百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億1百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加11億49百万円、その他有価証券評価差額金の増加6億92百万円等であります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により51億37百万円増加、投資活動により59億1百万円減少、財務活動により45億62百万円増加等の結果、当第3四半期連結会計期間末には119億62百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が43億4百万円、減価償却費が42億4百万円、売上債権の増加による資金減が18億36百万円、法人税等の支払による資金減が23億72百万円あったこと等により、51億37百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、自動車部品事業を中心とした有形固定資産の取得による支出56億81百万円等により、59億1百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の増加による収入86億22百万円、長期借入金の返済による減少16億41百万円、短期借入金の減少15億38百万円等により、45億62百万円の収入となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月14日の「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から単一の加重平均割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が119百万円増加し、利益剰余金が77百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,308	12,015
受取手形及び売掛金	17,425	19,506
商品及び製品	4,459	4,692
仕掛品	5,447	5,676
原材料及び貯蔵品	8,689	8,611
繰延税金資産	1,159	718
その他	2,802	2,925
流動資産合計	48,290	54,142
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,742	16,217
機械装置及び運搬具	53,244	55,559
工具、器具及び備品	9,639	10,094
土地	3,993	4,176
リース資産	202	676
建設仮勘定	3,003	3,973
減価償却累計額	△52,363	△55,227
減損損失累計額	△47	△47
有形固定資産合計	33,413	35,422
無形固定資産		
のれん	1,116	832
リース資産	76	58
その他	1,449	1,299
無形固定資産合計	2,641	2,190
投資その他の資産		
投資有価証券	7,088	8,298
長期貸付金	3	2
繰延税金資産	5,449	5,229
その他	520	535
投資その他の資産合計	13,060	14,063
固定資産合計	49,113	51,675
資産合計	97,403	105,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,781	11,474
短期借入金	14,074	13,218
未払金	1,631	1,943
リース債務	56	54
未払法人税等	1,534	824
未払消費税等	397	622
賞与引当金	942	691
役員賞与引当金	37	54
製品保証引当金	136	158
その他	2,060	3,479
流動負債合計	33,646	32,516
固定負債		
長期借入金	6,029	12,491
リース債務	426	351
繰延税金負債	73	184
役員退職慰労引当金	174	174
退職給付に係る負債	17,239	18,028
その他	65	121
固定負債合計	24,006	31,350
負債合計	57,652	63,866
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	31,979	33,128
自己株式	△477	△477
株主資本合計	37,981	39,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,817	3,509
為替換算調整勘定	△37	56
退職給付に係る調整累計額	△3,752	△3,624
その他の包括利益累計額合計	△972	△59
少数株主持分	2,742	2,881
純資産合計	39,751	41,951
負債純資産合計	97,403	105,817

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	75,480	93,294
売上原価	63,304	79,425
売上総利益	12,175	13,869
販売費及び一般管理費	8,969	9,793
営業利益	3,206	4,076
営業外収益		
受取利息	26	33
受取配当金	134	136
為替差益	1,060	515
その他	61	141
営業外収益合計	1,281	825
営業外費用		
支払利息	303	437
その他	61	130
営業外費用合計	364	567
経常利益	4,123	4,334
特別利益		
固定資産売却益	0	9
負ののれん発生益	—	18
特別利益合計	0	27
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	145	54
特別損失合計	145	57
税金等調整前四半期純利益	3,978	4,304
法人税、住民税及び事業税	1,649	1,688
法人税等調整額	△60	259
法人税等合計	1,589	1,946
少数株主損益調整前四半期純利益	2,389	2,358
少数株主利益	347	289
四半期純利益	2,042	2,069



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,389	2,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,033	692
為替換算調整勘定	1,335	240
退職給付に係る調整額	—	128
その他の包括利益合計	2,368	1,060
四半期包括利益	4,758	3,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,208	2,982
少数株主に係る四半期包括利益	550	436

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,978	4,304
減価償却費	3,465	4,204
のれん償却額	—	74
有形固定資産除却損	145	54
受取利息及び受取配当金	△160	△170
支払利息	303	437
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△6
負ののれん発生益	—	△18
売上債権の増減額(△は増加)	△1,621	△1,836
たな卸資産の増減額(△は増加)	△289	△151
仕入債務の増減額(△は減少)	△42	△1,376
賞与引当金の増減額(△は減少)	△341	△251
未払金の増減額(△は減少)	877	255
退職給付引当金の増減額(△は減少)	793	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	868
その他	△697	1,384
小計	6,409	7,771
利息及び配当金の受取額	160	170
利息の支払額	△287	△432
法人税等の支払額	△2,068	△2,372
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,214	5,137
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,466	△5,681
有形固定資産の売却による収入	0	6
投資有価証券の取得による支出	△13	△238
子会社出資金の取得による支出	—	△195
その他	△1	207
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,480	△5,901
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,032	△1,538
長期借入れによる収入	5,938	8,622
長期借入金の返済による支出	△1,453	△1,641
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△764	△837
少数株主への配当金の支払額	△42	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,710	4,562
現金及び現金同等物に係る換算差額	283	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,727	3,785
現金及び現金同等物の期首残高	7,710	8,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,438	11,962

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	31,002	24,068	4,281	5,780	10,349	75,480	—	75,480
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,957	143	—	1,347	131	14,578	△14,578	—
計	43,959	24,211	4,281	7,127	10,480	90,058	△14,578	75,480
セグメント利益 又は損失(△)	2,670	71	151	△392	1,014	3,514	△307	3,206

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△14,578百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△307百万円には、たな卸資産等の調整額△254百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	28,503	28,755	18,010	6,942	11,084	93,294	—	93,294
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,959	239	—	1,543	216	13,957	△13,957	—
計	40,462	28,993	18,010	8,485	11,300	107,251	△13,957	93,294
セグメント利益 又は損失(△)	1,338	1,267	612	21	961	4,199	△123	4,076

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△13,957百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△123百万円には、のれんの償却額△74百万円、顧客関連資産の償却額△85百万円およびたな卸資産等の調整額45百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。